

## ■コース案内

山形美術進学塾は二つのコースがあります。  
毎日描くための通学コースがお勧めですが、通学が困難な遠方の受験生にも通信で対応します。  
通信の受講でも土曜日の講習会は参加できます。また、通学コースが定員オーバーの場合も通信で対応します。  
両コースともに月ごとの申し込みです。受講・受講予約は先着順で、必要な月だけ受講できます。

### 通学コース

講習日 火～金18:00～21:00  
講習会 土18:00～21:00

受験対策用のコースです。週5回の通学で絶えず進行状況を確認しつつ課題を進めていきます。基本的にデッサン・構成共にスポーツのトレーニングと変わりません。一番難しいのは、“続ける事”です。そしてあらゆるトレーニングは続ける事で効果を発揮します。自然に続けることができるようになるまでは、そのリズムを自然な事にする事が重要です。通学コースは、描く事を日常の行動にするためのコースです。同時に、制作活動に必要な客観的な視点を鍛えるためのコースでもあります。一緒に通うライバルからの刺激や講師のアドバイスを活かして、自分のものにする事で、客観的な視点の持ち方を身につけることができます。

日・月・休日は基本的にアトリエは休みですが、その間に制作した課題等も、持参すれば講習します。

※アトリエの事情により、油彩はアトリエで行えません。油彩志望の場合は日・月曜日に作成し、土曜日の講習会で持参すれば、講習を行います。

### 通信コース

通信による課題  
講習会 土18:00～21:00

山形美大進学塾の通常コース講習時間中に通学する事が困難な受講生のためのコースです。

PCやMac、スマートフォン等を使いFacebookのmessengerで課題を配信、自宅や学校で課題に取り組み、土曜日の講習会に持参しアドバイスを受けます。高校から許可を得ることができれば、高校の美術室で作成中の作品をスマートフォンで撮影し、(messengerで進行状況を確認、アドバイスを得ることも出来ます。(時間によって対応出来ない場合もあります。))ただし、送受信の回線の状況、ハードウェア性能の影響や、集中光・モチーフ等設備の関係もあり、通学している状況ほどの確にアドバイス出来るとは限りません。

自分1人で勉強している時に、モチベーションを保つのは容易な事ではありません。あくまで通えない場合の救済策であり、リアルタイムでのアドバイスにはかなわない事を考慮し、どうしても通学が困難な場合と、通学コースの定員が埋まっている場合以外は通学コースをお勧めします。土曜日は通学コースと合同で講習会を行います。

	日	月	火	水	木	金	土
通学コース			通学日	通学日	通学日	通学日	2コース合同 講習会 18:00～21:00
通信コース			自宅学習課題 ※課題の出題、進行状況の確認を Facebook messenger で行います。				

## ■授業料・入学金

入学金 全コース共通 **10,000円** (税込)

### 通常コース

月額 **40,000円** (税込)

### 通信コース

月額 **40,000円** (税込)

※受講は月ごとの申し込みです。  
毎月15日までに持参・口座振込にて納入をお願いします。

## ■お問い合わせ

山形美術進学塾

☎ 080-5732-2886

E-mail : info@yamabijyuku.jp  
http://www.yamabijyuku.jp

https://www.facebook.com/yamabijyuku

〒990-2461

山形市南館 2丁目5-31



### ■Google Map

※GoogleマップのQRコードです。  
スマートフォンのカメラで読み込んでください。  
ブラウザがGoogle Mapでご覧ください。

美術系大学進学指導

# 山形美術進学塾

2025年度



# 美大で学ぶには、 必要な力がある。

## 美大での自由な制作活動には、 基礎力が必要だ！

美大での制作を楽しむために必要な力がどんなものか知っていますか？  
それを持たずに合格しても、美大での制作を楽しむことは困難です。  
そして大学に入学してからそれを鍛える時間はありません。  
本気でクリエイターを目指すなら「今」鍛えましょう！

## まずはデッサン力を鍛えよう！

デッサン力とは観る力とそれを証明する力。  
これがないと自由な表現も新しい発想もリアリティーがなく、  
意味のないものになってしまいます。  
まずは正しく観て、正しく伝える練習をしましょう。

## デッサンは才能ではない！ 習得には時間がかかるぞ！

デッサン力は曖昧な才能ではありません。  
習得はトレーニングによるものであり、それには時間がかかります。  
本気でデッサン力を望むなら早めにトレーニングを開始しましょう。



## 山形美術進学塾とは

美術系大学進学のための学習塾、それが山形美術進学塾です。デッサンを始め、美術系大学で学ぶためのトレーニングを行います。しかし、必要以上に“教える”ことはありません。

教わるより、自ら探ることの方が重要だと考えて、そのためのアドバイスをしていきます。

大学での研究に必ず必要になる『デッサン力』を鍛えることを通して、クリエイターに必要な、受講生本人の『観る力』・『考える力』・『伝える力』を鍛えます。



## 過去の合格実績

秋田公立美術大学  
成安造形大学  
女子美術大学  
多摩美術大学  
筑波大学  
東京造形大学  
東北芸術工科大学  
長岡造形大学  
日大芸術学部  
福島大学  
武蔵野美術大学  
山形デザイン専門学校  
ets...

## 受講までに道具を準備しよう！

購入した道具は必ず確認し、講習が始まる前に使って試してみましょう。

下記のイラストはデッサンで使用する鉛筆の削り方の一例です。鉛筆の削り方は文字を書く時の一般的な削り方とはだいぶ違います。細かい削り方は山形美術進学塾のHPでしらべて、講習開始までに削ってみましょう。

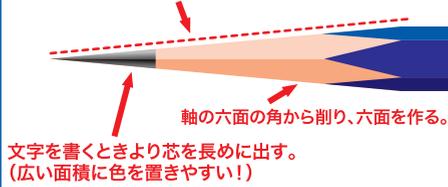
また、山形美術進学塾では道具の貸し借りは基本的に禁止です。道具はメンテナンスが肝心です。必ず持ち帰り、次の日の課題に備えましょう。

### 鉛筆デッサンに必要な最低限の道具一覧

- 4B～Fまでの鉛筆 3本ずつ以上
- H～3Hまでの鉛筆 2本ずつ以上
- 4H～10Hまでの鉛筆 1本ずつ以上
- フェキサチーフ 1缶
- 練りゴム(デッサン用) 1つ以上
- 羽筆 1本
- 切出し小刀(又は刃の厚いナイフ。鉛筆削りに使用) 1本
- カッターナイフ(紙切断用) 一本
- 水張りテープ 一巻
- 水張り用刷毛 一本
- 木製パネル B3・木炭紙版 各一枚

### デッサンで使用する描きやすい鉛筆の削り方

芯と軸を面一に合わせる(折れにくく、画面に傷をつけない！)



※ 上記は必要最低限の内容です。これ以外にも擦筆、ティッシュ、ディスクル、測り棒等、有用な道具はあります。必要だと思った時は随時買い足しましょう。それらを収納する道具箱も必要です。  
※ 紙は塾で購入できます。木製パネルに水張りをして作画します。

## 美大入試スケジュール

美術系大学の入試日程(予想)の一部をカレンダーです。志望校の合格に必要な日数を逆算して見ましょう。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<b>① 作品を作れる基礎力を鍛える</b> (半年～1年は必要)			成安造形大学 ● 総合型選抜入試1・2期 ● 総合型選抜入試3・4・5期 ● 一般入試1期/2期 雄略美術大学 ● 総合型選抜入試1・2・3期 ● スカラシップ選抜(前期) ● 一般入試(前期) ● スカラシップ選抜(後期) 京都精華大学 ● 総合型選抜入試1期A・B日程 ● 指定校・学校推薦入試 ● 一般入試1期/2期/3期 横浜美術大学 ● 総合型選抜入試1期 ● 学校推薦入試 ● 一般入試A・B・C								
<b>② 作品を作る</b> (合格のクオリティを複数点、制作に数ヶ月)			長岡造形大学 ● 総合型選抜入試 ● 学校推薦入試 ● 一般入試 女子美術大学 ● 総合型選抜入試 ● 学校推薦推薦/特別選抜入試 ● 一般入試 文星芸術大学 ● 総合型選抜入試併願/専願1・2・3期 ● 一般入試1・2期 東北芸術工科大学 ● 総合型選抜入試専願併願型/併願型 ● 一般選抜入試前期 東京造形大学 ● 総合型選抜入試 ● 学校推薦型選抜 ● 一般入試 日本大学芸術学部 ● 総合型選抜入試 ● 学校推薦型選抜(公募制) ● 一般選抜N全学統一方式 東北生活文化大学 ● 総合型選抜 ● 学校推薦入試 ● 一般入試A・B・C 多摩美術大学 ● 総合型選抜入試/総合型選抜入試 ● 一般選抜 武蔵野美術大学 ● 総合型選抜入試前期/後期 ● 一般選抜 秋田公立美術大学 ● 学校推薦選抜1 ● 学校推薦選抜2 ● 一般選抜前期/中期								
<b>③ 作った作品をポートフォリオにする</b> (道具と技術を持って1～2週間)											
総合型選抜入試での合格を考えると、上記の対策が必要。時間はあまりないぞ！受験の準備はできているか？											

注)2024年度の入試日程を参考におおよその日程を予想したものです。上記以外の入試方式、入試日程が全てではありません。